

TQ35001 トラックジャッキ（エアー式） 取扱説明書

この度は、TQ35001トラックジャッキ（エアー式）をお買い上げいただきありがとうございます。必ずこの「取扱説明書」をよく読み理解した上で、本製品を安全にご使用ください。また、いつでも読むことができるように大切に保管してください。



TQ35001トラックジャッキ（エアー式）は自動車をリジトラック（馬ジャッキ）で保持するために上昇・下降するための工具です。本来の目的以外の使用は絶対にしないでください。

免責事項について

- ・ 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、
- ・ お客様の故意または過失、誤用、その他以上の条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・ 製品の使用または使用不能から生じるいかなる他の損害（事業利益の損失、逸失利益、事業の中断等）に関して当社は一切責任を負いません。
- ・ この「取扱説明書」の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・ 当社が関与しない機器との組み合わせによる誤作動、故障等から生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

*注) 予告なくセット内容、デザイン等が変更になる場合があります。ご了承ください。

安全に対する危険・警告・注意事項

作業者は必ず本製品を熟知した上でご使用ください。本説明書の警告・注意事項をよく読み、正しく理解してから使用してください。怠った場合、死亡または重傷等の重大な事故の危険があります。

危険 下記内容をお守りください。死亡または重症を負う原因になります。

ジャッキアップした状態で、車両の下での作業は絶対にしないでください。死亡または重傷の危険があります。車両の下で作業する場合は必ず、リジッドラックを使用してください。

警告 下記内容をお守りください。重症または重大な事故の原因になります。

- ・ この「取扱説明書」をよく読み、よく理解した上でご使用ください。また、ジャッキを熟知した専任の作業者以外の使用は絶対にしないでください。
- ・ 耐荷重(能力)以上の荷重をかけて使用しないでください。
- ・ ジャッキと車両の間には、付属またはメーカーの推奨するアタッチメント以外のものを使用しないでください。昇降中に外れる危険があります。
- ・ 傾斜地・平坦でない床・硬質でない床での本製品の使用は絶対にしないでください。
- ・ ジャッキアップするときはエンジンを切り、パーキングブレーキをかけてください。また、接地側のタイヤに輪留めをしてください。
- ・ 作業を行う際は、必ずリジッドラックを使用してください。また、使用するリジッドラックの取扱説明書および注意書きを正しく理解した上で、安全に作業を行ってください。
- ・ ご自身での修理・分解・改造等はいしないでください。異常や違和感がある場合は、お買い上げの販売店に修理依頼をしてください。
- ・ 安全弁およびシリンダーの部品には絶対に触らないでください。
- ・ 子供の手の届くところに放置・保管しないでください。また、使用時は周囲に子供がいらないか注意してください。

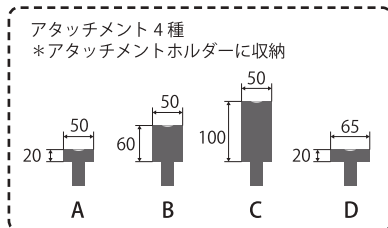
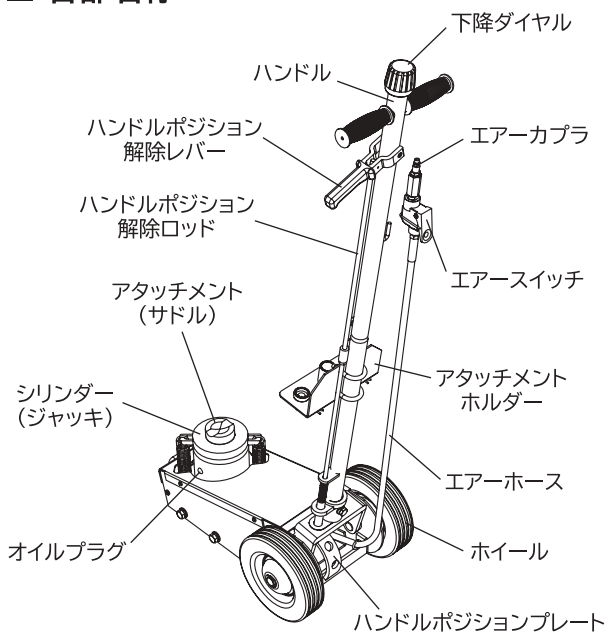
注意 下記内容をお守りください。事故や故障の原因になります。

- ・ 使用前に日常点検を行い、各部品が正しく取り付けであることを確認してください。
- ・ ジャッキアップ時は、車両から人や荷物が載っていない状態にしてください。
- ・ サドルは車両ごとの説明書等を確認し、適切な位置にかけてください。
- ・ ジャッキの昇降は、必ず周りの安全を確認してから行ってください。また、下降時は下降ダイヤルをゆっくりと回し、車両をゆっくりと下げてください。
- ・ ジャッキアップ時は、車両に対しジャッキを斜めに入れないでください。
- ・ ジャッキアップ状態での車両の搬送はしないでください。
- ・ 水気のある場所での作業、保管はしないでください。洗車時の使用や屋外での保管等は故障の原因になります。
- ・ 2 台以上のジャッキを同時に使用するときは必ず周囲の安全を確保し行ってください。
- ・ 下降ダイヤルを緩めすぎないでください。部品が外れてオイルが漏れる恐れがあります。

■ 日常点検・保管について

- ・ 各可動部、摺動部は日常点検を行い、定期的に給油を行ってください。(ジャッキ可動部、ホイール軸部等)
- ・ ジャッキを一番下げた状態で保管してください。
- ・ 水気がなく風通しの良い屋内で保管してください。
- ・ 点検時または作業時に作動油の漏れ・各部品の損傷・変形・ガタつき・異音等がある場合は、ジャッキの使用を中止してお買い上げの販売店に修理依頼をしてください。そのまま使用し続けると、ジャッキの破損および重大な人身事故が起こる原因になります。

■ 各部名称

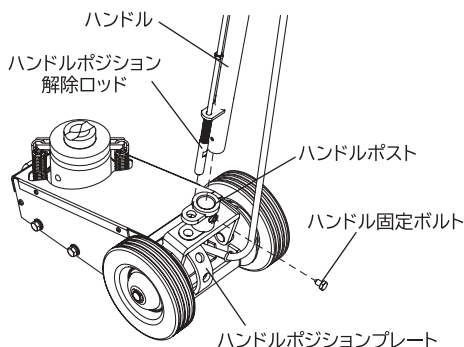
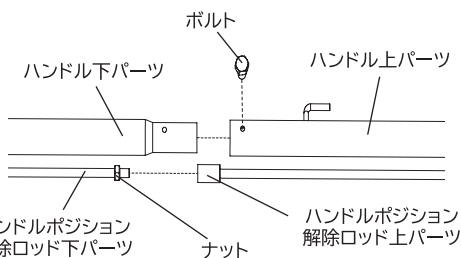


■ 仕様

能力	35t
最低位	265mm * アタッチメント A 使用時
最高位	590mm * アタッチメント C 使用、補助ネジ最長時
揚程	130mm
補助ネジ伸長	115mm
駆動方式	圧縮エア * 推奨 0.65 ~ 1.2MPa
本体全長	570mm
本体全幅	330mm
ハンドル長さ	1220mm
本体重量	約46kg

■ 組み立て

1. ハンドルの上パーツと下パーツを接続し、穴位置を合わせてボルトで固定します。
2. ハンドルポジション解除ロッドの上パーツと下パーツを接続し、ナットで固定します。
* ロッド締め位置によってハンドルロック解除の位置を調整することができます。
3. 組み立てたハンドルを本体のハンドルポストに挿入し、ハンドル固定ボルトでハンドルを固定します。
この時、ハンドルポスト内の下降バルブリックとハンドル内の四角溝を合わせて挿入します。また、ハンドルポジション解除ロッド先端をハンドルポジションプレートの穴に挿入します。
4. ハンドル接続後、ハンドルポジション解除レバーを握ってハンドル位置が変更できるか確認してください。また、下降ダイヤルを回して下降バルブリックと連動しているか確認してください。

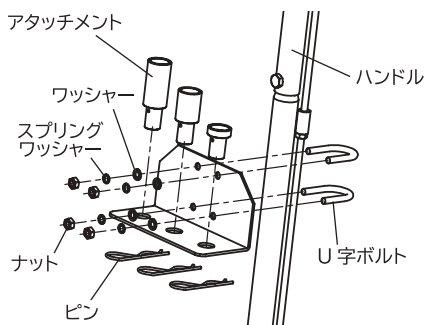


5. ハンドルにアタッチメントホルダーを取り付けます。U字ボルトとナット類で固定してください。

取り付け後、アタッチメントを挿入し、ピンで抜け防止をしてください。

6. 各部の取り付けを確認してください。

ハンドル等が確実に組みまっているか、下降ダイヤル・ハンドルポジション解除ロッドがスムーズに作動するか確認してください。



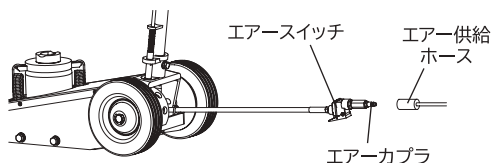
■ 動作確認およびエアー抜き

動作確認と同時にエアー抜き作業を行います。

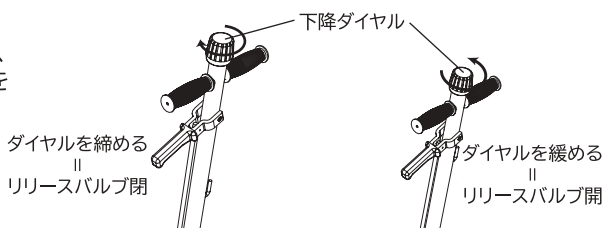


開封前輸送時または今後の使用において、油圧システム内にエア어가混入する可能性があります。使用前およびジャッキの昇降に違和感がある時はエアー抜き作業を行ってください。

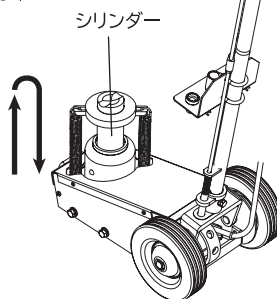
1. エアースwitchのエアークラパーにエア供給ホースを接続してください。



2. 下降ダイヤルを当てるまで右に回し、リリースバルブを閉じてシリンダーを上昇する準備をします。

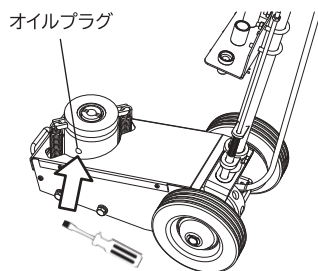


3. エアースwitchのレバーを握るとポンプが作動し、シリンダーが上昇します。最高位まで到達したらエアースwitchのレバーを放してポンプを停止します。停止後、下降ダイヤルを左に回し、シリンダーを下降してください。



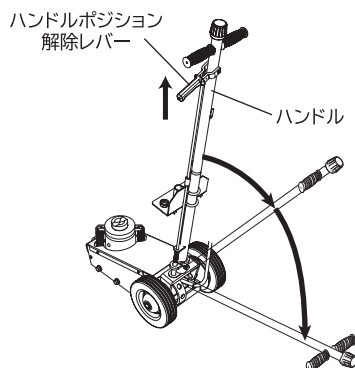
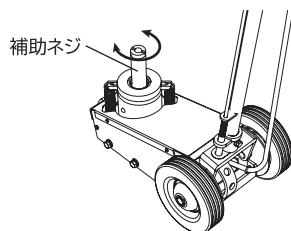
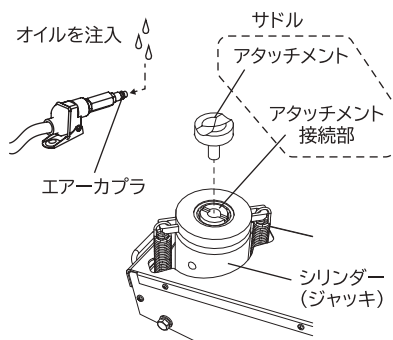
4. シリンダーが最低位まで下がったら、シリンダーのオイルプラグをマイナスドライバー等で横から押して変形させて、シリンダー内のエアを解放します。

5. 下降ダイヤルを締めたらエア抜き作業は完了です。動作確認をして、まだ違和感がある場合は、この作業を数回行ってください。



■ 使用前の準備

- ・ 使用前にエアカプラからエアーツールオイルを数滴注油してからエア供給をつなぎ、ポンプを数秒作動してオイルをなじませてください。
- ・ シリンダーのサドルにいずれかのアタッチメントを装着してください。アタッチメントを接続しない状態で車両をジャッキアップしないでください。
- ・ 補助ネジは回すと伸縮することができます。左に回すと伸び、右に回すと縮みます。サドルの高さを微調整することができます。
- ・ トラックジャッキ本体を移動する場合、ハンドルを後方に引き、シリンダー側を持ち上げてホイールに本体の重量を乗せて押し引きまたは旋回します。
- ・ ハンドルポジション解除レバーを上引くとハンドルのロックが解除されてハンドル位置を3段階に変更することができます。車両下等に入れる時はハンドルを倒して移動します。
- ・ ジャッキアップする前に動作確認をしてください。部品の変形・破損・ひび割れや、オイルもれ・異音等の異常がある場合は、使用を中止してください。



■ 使用方法



使用上の注意

必ずお読みください。重大な事故の危険や車両および本製品が故障する原因になります。

- ・ リフトアップ時の安定性を確保するため、車両に輪留めやサイドブレーキをかけ、荷物等を固定する等の処置をしてください。
- ・ 車両のジャッキポイントとジャッキのサドルが中央に接触する位置に、ジャッキを配置してください。ジャッキポイントが不明な場合はサービスマニュアルを参考にするか、車両メーカーに確認してください。
- ・ サドルにアタッチメントをつけていない状態でジャッキアップしないでください。
- ・ サドルがジャッキポイントに接触するまでジャッキを上昇し、車両をジャッキアップする前にサドルの位置とジャッキポイントが正しく接触して安定して上げることができるか確認してからジャッキアップしてください。
- ・ ジャッキアップ後、適切なリジットラックを使用して車両の荷重を支えてください。
- ・ ジャッキダウン時、急に下降ダイヤルを左に回すと急激に車両が下降します。下降ダイヤルはゆっくりと回し、少しずつ車両をジャッキダウンしてください。
- ・ エアースイッチにはレバーをロックする部品がありレバーを離してもジャッキを上昇することができますが、使用中はエアースイッチから手を放さず、いつでもロックを解除できるようにしてください。
- ・ ジャッキをかけた状態で移動する等、ドーリーの様な使用は絶対にしないでください。
- ・ リジットラックをかけていない状態で車両下に入って作業をしないでください。
- ・ 問題が生じ、車両が脱落や傾いたりしても必ず手や体で支えようとせずその場から逃げてください。下敷きになり死亡や重大な事故の危険があります。

《 ジャッキアップ 》

1. リリースバルブを閉め、エアーカプラーにエアー供給ホースを接続してください。
2. 車両ジャッキポイント下にサドルが当たる位置にジャッキを配置してください。
3. エアースイッチのレバーを握るとジャッキが上昇します。安全を確認して車両をジャッキアップしてください。
4. ジャッキが任意の高さまで上がったなら、リジットラックを設置してから下降ダイヤルを左に回し、ジャッキダウンして荷重をリジットラックにかけてください。

《 ジャッキダウン 》

1. 少しジャッキアップして、リジットラックを外してください。
2. 下降ダイヤルを少しずつ左に回し、ゆっくりと車両をジャッキダウンしてください。
3. 車両下よりジャッキを取り出してから、エアーの接続を解除してください。

■ メンテナンス

- ・ 使用前、使用後にオイル漏れ・損傷・摩耗・部品の欠品等の異常がないか点検してください。異常がある場合は使用せず、お買い上げの販売店に修理依頼をしてください。
- ・ 製品に汚れが付着した場合、シリンダーの軸(銀色部)以外は洗浄剤等で洗浄し、拭き取ってください。またシリンダーの軸部はウエス等でふき取ってください。錆がある場合は浸透性のオイルをウエス等でふき取り除去してください。
- ・ 定期的に荷重をかけていない状態でシリンダーを伸ばし、シリンダーの軸に汚れ・錆・傷・オイル漏れ等の異常がないか確認してください。汚れや錆がある場合は浸透性のオイルとウエス等で除去してください。サンドペーパーや研磨剤等で磨かないでください。また、傷やオイル漏れがある場合は修理依頼をしてください。
- ・ 定期的に各可動部・摺動部(ハンドル、キャスト等)にグリスまたはオイルを給油してください。
- ・ 直射日光下、高温多湿でない水気のない風通しの良い屋内で保管してください。
- ・ シリンダーは最低位(最縮)で保管してください。

《 ジャッキのメンテナンス 》

- ・ メンテナンスおよび修理はジャッキの構造を熟知した作業者が行ってください。
- ・ 頻繁に使用する場合は、約1年毎にジャッキオイルを交換することを推奨します。
- ・ ジャッキオイルを点検・補充・交換する場合は、シリンダーのオイルプラグより行ってください。
- ・ シリンダーのセーフティバルブ(本体カバー内)には絶対に触らないでください。
- ・ オイル漏れや極端にオイルの量が減る場合はお買い上げの販売店に修理依頼をしてください。

《 ジャッキのオイル交換について 》

- ・ ジャッキオイルの補充・交換時はジャッキを最低位で行ってください。
- ・ オイルプラグを取り外し、オイルの抜き取りまたは注油を行ってください。
- ・ ジャッキオイルの量は、ジャッキを水平な場所に置き、オイルプラグ穴と油面が0mmから下10mmの間が適量になります。注油後エア抜き作業を行い、オイル量を調整してください。
- ・ オイルは少なくとも入れすぎても作動不良の原因になります。

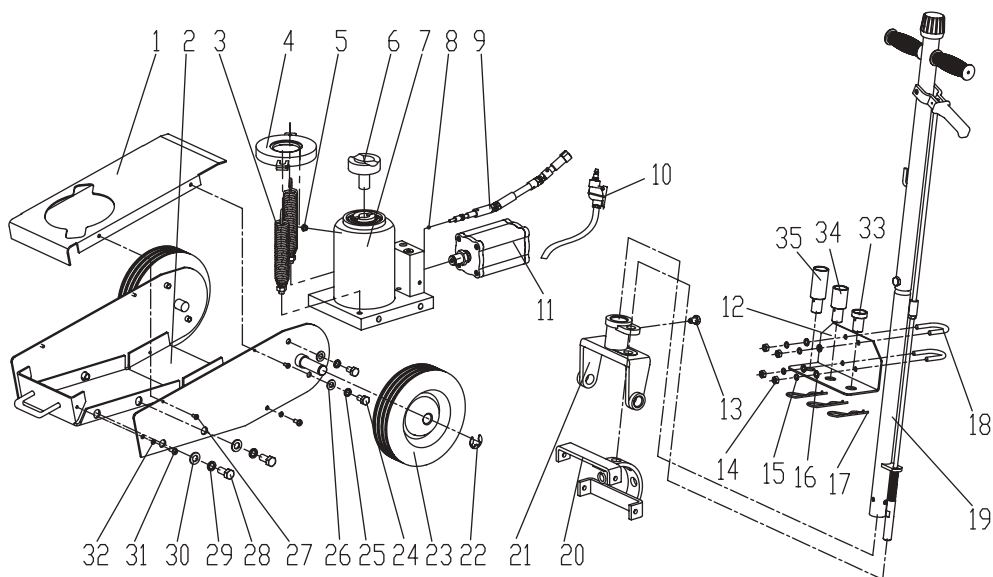
＊推奨ジャッキオイル:ISO VG15相当

《 エアーポンプのメンテナンス 》

- ・ 作業毎にエアーカプラーから市販のエアーツールオイル等を数滴注油し、エアーポンプ内にオイルを潤滑させてください。

＊推奨エアーツールオイル:ISO VG32相当

■ 部品図



No.	品名	個数	No.	品名	個数
1	カバープレート	1	19	ハンドルアッセンブリ	1
2	ベースプレート	1	20	コネクティングプレート	1
3	スプリングアッセンブリ	2	21	ハンドルソケット	1
4	スプリングホルダー	1	22	リテーナーリング φ15mm	2
5	オイルプラグ	1	23	タイヤアッセンブリ	2
6	サドル φ63×60mm	1	24	ボルト M10×16mm	4
7	パワーユニット(シリンダー)	1	25	スプリングワッシャー M10	4
8	スチールボール φ6mm	1	26	ワッシャー M10	4
9	リリースバルブアッセンブリ	1	27	スクリュー M5×12	4
10	トリガースイッチ	1	28	ボルト M12×25mm	4
11	エアポンプ	1	29	ワッシャー M12	4
12	サドルベースプレート	1	30	スプリングワッシャー M12	4
13	ハンドルソケットスクリュー M10×16mm	1	31	スクリュー M6×12	4
14	ナット M8	4	32	ワッシャー M6	4
15	スプリングワッシャー M8	4	33	サドル φ48×60	1
16	ワッシャー M8	4	34	サドル φ48×100	1
17	スナップリング	3	35	サドル φ48×140	1
18	Uボルト	2			



株式会社レックス
〒501-0231岐阜県瑞穂市野白新田55-1

#3050824